

研究・研修報告書



令和7年2月4日

小牧市議会議長 様

会派名

無会派

代表者氏名

大上利幸

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

大上利幸

2 日程

令和7年1月21日（火） 22（水）

3 研究・研修名

人口減少時代の自治体財政

4 主催者

地方議員研修会

5 会場

リファレンス西新宿大京ビル

6 受講の目的

人口が減少する中での自治体財政の課題と対策を知るため

7 主な内容

講師 立命館大学政策科学部教授、博士（政策科学） 森裕之氏

1 / 2 1（火）

世界一わかる財政基礎研修① 10：00～12：30

- ・議員が知るべき財政の本質とは
- ・制度を理解してから各質疑を
- ・必ずわかる地方交付税
- ・令和6年度に押さえておきたい財政措置

世界一わかる財政基礎研修② 14：00～16：30

- ・自分の街の財政をみる

- ・ 財政を見るときのポイント
- ・ 自分の街の客観的な財政の見方
- ・ 職員の説明を聞いてわかった気になると悲惨

1 / 2 2 (水)

財政破綻に向かう自治体財政①

- ・ 国の方向性を確認しよう
- ・ コロナがもたらした財政規律の破壊
- ・ 財政逼迫に備えるポイント
- ・ お金の使い方は議会で決めている

財政破綻に向かう自治体財政②

- ・ 各地の財政危機宣言の嘘と事実
- ・ 財政危機は察知できる未来
- ・ 合併と人口減少は理由にならない
- ・ 人口減少に備える財政の考え方

8 具体的な内容と取組

『世界一わかる財政基礎研修①②』では、自治体の目的は住民福祉の増進であり大切なのは住民ニーズに応える住民サービスの実施方針（予算）であって、収支結果（決算）ではないことや自治体財政のルールとしてたった一つのルールである赤字にしないことを守れば、財政をどこへ支出するかはすべて優先順位（好み）の問題（家計と全く同じ）であるから、財政の知識を活用して、それぞれの立場から議会で取り組むことが何よりも大切であることを学びました。

さらに、自治体財政は家計におきかえると簡単に理解できる内容で説明があり、地方税・地方交付税・国庫支出金（補助金）・地方債等もペットボトルへ入れる水の量での説明があり、特に地方債に関しては住宅ローンと同じである例での説明はとてもわかりやすく学ぶことが出来ました。

『財政破綻に向かう自治体財政①②』では、財政制度等審議会と地方財政制度審議会での地方財政の基本知識の説明があり、「骨太の方針2024」での「経済・財政新生計画」において本計画の対象期間は人口減少が本格化する2030年度までの6年間とし、2025年度の国・地方を合わせたプライマリー・バランス黒字化を目指す等の説明があり、地方財政審議会の意見として、デジタル化の推進・公共施設等の適正管理・公営企業の経営改革等の効果的・効率的な支出の推

進の説明がありました。

さらに、後半では「財政危機宣言」や財政危機の事例として、阪南市・堺市・裾野市・新居浜市・玉野市・川口市・京都市・市川三郷町の実質単年度収支や財政調整基金等の推移の説明や取組状況の説明がありました。

今回の自治体財政の講習は令和2年7月にも同じ森裕之氏の財政の基礎の講習を受けているので2回目であるが、具体的な事例等もあり自治体財政についてより理解が進みました。

やはり私たち議員が自治体の財政に詳しくなることにより、行政の説明にごまかされることなく、住民ニーズに応える住民サービスの実施方針（予算）について、通常の議員活動や一般質問・常任委員会等での質問を活用して行政側に要望していきたい。